

掃水自主防犯パトロール隊 (松阪市)



13周年出発式！

地域の安全・安心を目指して、 自治会と連携したパトロール！

1 活動地域

私たちが活動する松阪市は、三重県の中心に位置し、東は伊勢湾に面し、西は山々に囲まれて、自然豊かな地域となっています。

松阪市の人口は約16万5,000人で、平成15年度の実勢調査以降減少傾向にあります。

松阪市には、一級河川榎田川が東西に流れており、その中流沿岸に私たちがパトロールしている榎田地区があります。

榎田地区の特徴は、住宅地と農地が混在し、ほぼ中央には旧伊勢街道が東西に通っており、この街道を中心に発展してきました。

2 団体の概要

平成18年5月、三重県警察本部長から証明を受け、青色回転灯装備車両（以下「青パト」といいます。）を導入し、隊員総勢22名により、青パト車載拡声器を使用した防犯パトロールを開始しました。

その後、榎田地区各自治会等と連携し、現在隊員は54名まで増えています。

3 活動内容

(1) 登下校時の防犯パトロール

子供たちの登下校時に、学校や駅周辺に加えて、不審者情報があった地点等を中心に、青パトや徒歩での防犯パトロールを行っています。

(2) 小学校と連携した各種活動

ア タウンウォッチング

私たち隊員と小学生が区内を一緒に歩き、危険箇所の確認・点検及びマップ作りを行っています。

イ 防犯・交通安全講話や不審者侵入対応訓練

掃水小学校と連携し、子供たちに対する防犯・交通安全講話を行ったり、不審者侵入対応訓練に参加しています。

(3) 警察との情報交換・連携強化

絆ネットや榎田駐在所員から、犯罪発生状況や不審者認知状況等の情報収集を行い、青パトや徒歩での防犯パトロールに役立てるとともに、年末年始特別警戒取締り出発式に参加するなど、警察との連携を密にしています。

また、偶数月の第4金曜日に開催している青パト会議の場において、青パトや徒歩での防犯パトロールで入手した生の情報を協議、検討及び資料等により確認するとともに、同駐在所内の情報記入帳の活用等で情報共有を図っています。

(4) 出発式の開催

毎年1回(6月)、松阪市長や松阪警察署長を来賓に招き、隊員全員によるパトロール出発式を開催しています。(本年は6月25日に開催)

4 活動頻度

主な活動としては、週3回程度、子供たちの登下校時間帯を中心に、防犯パトロールを実施しています。

その他にも随時、子供たちに対する防犯・交通安全講話等を実施しています。

5 課題

- (1) 現役世代の人材確保
- (2) 青色回転灯装備車両の更新
- (3) 隊員の意識高揚

6 課題の解決に向けた取組方策

(1) 自治会と連携した人材の確保

活動地区である榎田地区各自治会と連携することにより、青パト隊員を確保しています。

(2) 財団による助成事業への応募

今まで使用してきた青パト車両が古くなってきたため、公益財団法人日本財団が実施している青パト配備助成事業に応募し、2018年度、新たな青パト車両を購入しました。

(3) 出発式の開催

隊員の意識高揚及び関係者との連携強化、地域住民に対する広報啓発を目的として、団体独自で年1回、出発式を実施しています。